

貴陽(きよう)

登録番号 第4894号

甲西町湯沢907)

登録年月日：平成8年2月27日

育成者：高石鷹雄

登録者：高石鷹雄（山梨県中巨摩郡

来歴：「太陽」の自然交雑実生

特性

■栽培特性

樹勢および樹姿は若木で、直立性が強く、「太陽」と同様な生育を示すが、結実が始まると「太陽」より枝が軟らかいので、樹は開張性を示してくる。このため、「太陽」より棚栽培が容易であると思われる。

新梢の発生状況は「太陽」と殆ど同じである。果実は花束状短果枝、短果枝を主体に結実する。中果枝にも花芽が着生しやすいので結果枝構成は作成しやすい。

結実性は「太陽」と同様に、実用的に使用可能な交雑和合性の高い品種が少ないが、「ハリウッド」は結実良好な花粉親として使用できる。安定した結実を確保するためには採取した「ハリウッド」の花粉を用いて丁寧に人工受粉をするとよい。

収穫期は育成地で7月下旬から8月上旬で、「太陽」よりやや早い。「ソルダム」の収穫後期から収穫適期となる。

■果実特性

果実の大きさは200g前後で大きく、300gを超えるものがある。果形はほぼ円形で、果皮色は淡紅であるが、果粉が多く、やや紫がかった色に見えるが、「太陽」より色は薄く、着色しにくい。

「太陽」と同じように熟期が近くなると果底部に輪紋を生ずる。果肉は白色で肉質は良く、糖度は14度程度で高く、酸味は少なく、食味は良好である。

■病虫害抵抗性

育成地では黒斑病は認められないが、アブラムシ、シンクイムシ類、カメムシ類の加害および灰色かび病、灰星病の発生も他の品種と同程度である。

■栽培上の留意点

結実の確保が問題があるので、人工受粉を徹底して行う。「太陽」が2回の受粉で結実確保できる場合、本品種は4回行わないと同じような結実量は得られない。仕上げ摘果は果実が親指の大きさになった頃が良い。この時期に小さい果実は収穫期においても大きくならないので摘果する。

果底部に輪紋が生じ、収穫近くの降雨により、この部分が裂果する。この防止対策として傘掛けをすると良い。傘掛けが遅くなると果梗が短いため掛けにくくなるので摘果前に行う。また、着色管理は反射マルチを使用すると良い。特に樹冠内部に光が入るように心がける。

果実が大きく、受粉や傘掛けの必要性などを考慮すると棚栽培が望ましい栽培方法と思われる。

■地域適応性

既成品種が経済的に栽培されている地域で、栽培が可能である。一般にスモモ栽培は他の果樹の種類に比較して開花が早いので、凍霜害を受けやすい地域での栽培は避ける。また、省力栽培果樹との考え方での導入は、栽培が安定しないので避ける。

(遠藤 久)